



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

令和6年(2024年)
3月5日
火曜日
第269号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県SDGsスクールアワード2023 表彰式開催！

～児童生徒から広がるSDGsの取組～



持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた、児童生徒による地域課題解決の取組を推進し、県内にSDGsの理念を広く根付かせることを目的として、県内の児童生徒の取組を募集した結果、147チームの応募がありました。

2月9日(金)には、静岡市葵区の札の辻クロスホールにて表彰式を開催し、優秀な取組に、県教育長賞、優秀賞、企業賞を授与しました。また、昨年度の受賞校の現在の取組や、企業との連携について紹介しました。

受賞校の取組を参考に、身の回りの課題の解決へ一歩踏み出して、県内にSDGsの実践を広げていきましょう。



受賞校紹介

1

小学校の部

県教育長賞

「牧小4年のSDGs ～知って考えやってみ～」

牧之原市菊川市学校組合立牧之原小学校(4年生)



SDGsについて学び、「学校の中でできること」「家で家族とできること」の2つの視点から話し合いを行いました。市の環境課、長寿介護課、県産業廃棄物課の方々から、さまざまな課題や取組を教えていただき、自分たちもゴミの分別、水や電気の節約、食品ロスをなくすなど、実践的な活動に主体的に取り組めました。

また、大勢でやることで大きな結果につながっていくと感じ、他学年等にも発信し取組が全校に広がっています。



優秀賞

「ぼくたちSDGs広め隊」
富士宮市立大富士小学校(5年生)

優秀賞

「原から未来へ～次の世代の豊かさにつなぐ～」
沼津市立原小学校(児童会)

2

中学校の部

県教育長賞

「フードパントリーに協力して住みよい街づくりに貢献しよう」

焼津市立大富中学校(生徒会)



地域や学校がもっと元気になるために、中学生として何ができるか考え、焼津市の地域団体が企画したイベント「フードパントリー」に生徒会で協力することにしました。全校生徒に放送やチラシで呼びかけを行い、家庭で余っている食品を集めました。集まった食品をイベントに提供するとともに、イベントにも参加し、地域の方と一緒に活動することができました。

今後も、地域とのつながりを大事にして、地域活動に積極的に参加したいと考えています。



優秀賞

「GDC2023(優秀デモコレクション2023)」
加藤学園秀秀中学校(2年生1組～3組)

優秀賞

「マイクロプラスチックの危険性」
沼津市立第四中学校(佐野直太朗)

3

高等学校の部

県教育長賞

「自然の魅力を伝えたい 高校生スポーツビーチクリーン実行委員会」

オイスカ浜松国際高等学校(環境SDGsプロジェクト)



気軽に楽しめるスポーツ・ゲーム形式のビーチクリーン活動を継続して実施し、浜松市との連携の下、「高校生スポーツビーチクリーン実行委員会」を発足するとともに、「浜松市ビーチ・マリンスポーツ推進協議会」に加盟し、現在では、民間企業と連携して4種類の作業種目等による定期的なイベントを開催しています。

今後も、自然豊かな浜松の魅力を発信し、参加校を増やすとともに、スポーツと健康、笑顔をテーマに、高齢者の方も気軽に参加できる環境ボランティア活動にしていきたいと考えています。



優秀賞

「住み続けられる三島の街を」
加藤学園秀秀中学校・高等学校
(三島大通り商店街ボランティア)

優秀賞

「農業によるSDGs教育を目指して」
県立静岡農業高等学校
(農産プロダクション「いきものがかり」)

4

特別支援学校の部

県教育長賞

「Qちゃんが地球を救う！」

県立富士特別支援学校(高等部 再生事業班)



作業学習で製作している「Qちゃん(油吸収材)」について吸収実験を行い、中に入れる古新聞の加工方法により吸収力が違うことを実感し、掲示物にまとめました。

また、企業のSDGsに関する出前講座を受講し、「Qちゃんを使ってもらうこと自体が、地球(海)のためになる」と気付き、受注生産を始めたり、地域での販売会では、自分たちのアイデアでビニール袋から紙の包装に変えたりと、環境に優しい工夫を重ねています。

今後も、「Qちゃん」の製造と販売を通じて、SDGsの大切さを伝えていきたいと考えています。



優秀賞

「作業学習での取組
～人に喜ばれるものへ～」
県立静岡北特別支援学校(高等部)

優秀賞

「ひとがずっと ちきゅうがずっと」
県立浜松視覚特別支援学校
(幼小学部)

5

企業賞

「企業賞」授与企業	受賞校
ELFIE GREEN株式会社	県立静岡農業高等学校
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	城南静岡高等学校
イオンリテール株式会社 東海カンパニー	加藤学園秀秀中学校
株式会社エスパルス	県立清水特別支援学校
株式会社杏林薬局	オイスカ浜松国際高等学校
株式会社静岡銀行	オイスカ浜松国際高等学校
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	県立静岡北特別支援学校
株式会社天神屋	県立焼津中央高等学校

「企業賞」授与企業	受賞校
株式会社日本政策金融公庫静岡支店	加藤学園秀秀中学校
株式会社ローソン	牧之原市菊川市学校組合立牧之原小学校
静岡県 J Aグループ	県立静岡北特別支援学校
静岡ブルーレヴズ株式会社	浜松開誠館中学校・高等学校
ジャスコ株式会社	沼津市立第四中学校
損害保険ジャパン株式会社	牧之原市菊川市学校組合立牧之原小学校
第一生命保険株式会社	沼津市立第四中学校
東京海上日動火災保険株式会社 静岡支店	県立沼津特別支援学校

「企業賞」授与企業	受賞校
日本生命保険相互会社	県立駿河総合高等学校
浜松光電株式会社	加藤学園秀秀中学校・高等学校
マックスバリュ東海株式会社	県立駿河総合高等学校
三井住友海上火災保険株式会社	沼津市立原小学校
明治安田生命保険相互会社	県立駿河総合高等学校
米久株式会社	富士宮市立大富士小学校
リコー・システム株式会社 デジタルサービス営業本部静岡支店	県立富士特別支援学校

受賞校の紹介は、こちら



【教育政策課】

公務災害に関する相談窓口 ～ 教職員及びその御家族の皆様へ ～ 公務災害に関する御相談がある方は、所管の教育委員会までお問い合わせください。

◎県立学校教職員の場合/静岡県教育委員会 教育厚生課(054-221-3131) ◎市町立学校教職員の場合/各市町教育委員会

実践NOTE⁵³⁵

3つの資質・能力の育成を目指す 効果的なパフォーマンス課題とルーブリック評価の設定

浜松市立江南中学校 教諭 平野 佑樹

単元学習前に、単元を貫くパフォーマンス課題（大）を設定&掲示

私は生徒に対し、これから展開される授業に見通しをもって取り組んでほしいと願っています。そのために、日常生活へ直結する興味深い課題（大）やキーワードを常に設定し、掲示しておきます。すると、授業では解決に繋がる生徒の自然な気づきを促すことができます。（課題設定の工夫）



理科室掲示の工夫

課題（大）の解決を目指し、パフォーマンス課題（小）に挑戦 & ルーブリックで自己評価 & 気づきを記録

課題（小）は既習事項を活用して解決できるものであり、課題（大）の解決に繋がるヒントが含まれています。生徒は課題（小）に挑戦した後、ルーブリックで3段階の自己評価を行い、客観的な達成度の振り返りや課題（大）の解決に繋がる自分なりの気づきを記録しました。そして、次の授業で再度同じ課題（小）に取り組むことで、全体の86%の生徒の点数が向上しました。（知識・技能の習得）

課題	1回目の解答	2回目の解答	3回目の解答
1	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
2	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
3	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
4	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
5	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
6	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
7	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
8	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
9	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
10	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。
11	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。	電子の移動方向は、電圧が高い方から低い方へ向かう。

学びの積み重ね

抱いた疑問は「理科の見方・考え方」を働かせ、生徒自身で解決

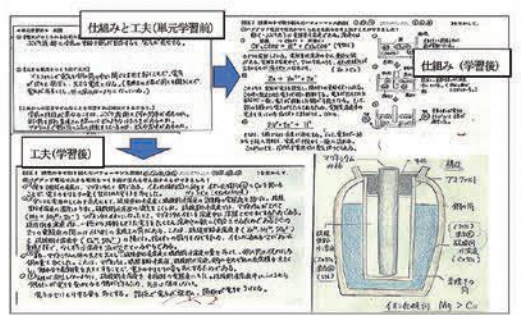
記録中にある「なぜだろう」の疑問を積極的に取り挙げ、生徒自らが仮説を立てて探究し、振り返る過程を大切にしました。写真は、「電子授受量は電解液に触れる金属の表面積の大きさで変わるのではないか」という生徒の仮説を実験で確かめている様子です。大きな電気を作り出す工夫について、それぞれが仮説を立てて実験を行いました。すると、「電子」をキーワードに全体の82%の生徒が質的・実体的な視点で結果を分析し、関係性を見いだすことができました。（思考力・判断力・表現力等の育成）



授業中の筆者

単元学習前後の解答に大きな変容が

生徒が毎時間の課題（小）の学びを積み重ね、粘り強く課題（大）に挑戦した成果と言えます。単元学習前後で、自分自身に大きな変容を感じた生徒は全体の90%でした。（学びに向かう力・人間性等の涵養）



課題(大)に対する解答の変容

今回の実践では、生徒が単元全体に見通しをもち、理科の見方・考え方を働かせながら主体的に探究する過程を実現することができました。そして、3つの資質・能力を育むことに繋がりました。身近な疑問を自らの力で探究し、科学的に解決を目指す過程こそ理科の本質であると確信しています。

実践NOTE⁵³⁶

診断的評価を活用して授業改善へ

静岡県立掛川西高等学校 教諭 山崎 一憲

はじめに

評価には、診断的評価と形成的評価、総括的評価があります。授業前の生徒の学力状況を測る診断的評価を授業改善に役立てている例を紹介します。



筆者の授業風景

単元を見通した診断的評価

新しい単元に入るときには、その単元を通じて活用する振り返りシートの最初の欄に、その単元に関わる質問をいくつか記入しておき、「今現在知っていること」を答えさせます。学習前なので、勘違いしていたりあいまいだったりする内容も見受けられます。例えば、生態系に関する単元では「生態ピラミッドについて知っていること」を答えさせます。すると「生態ピラミッドの上位ほど個体数が多い」と記入する生徒がいます。このような生徒の勘違いを事前に把握することで、「一般的には上位ほど個体数が少ないが、木に付く毛虫のように上位の個体数が多い例もある」ことに気付くような授業展開を組み立てることができます。



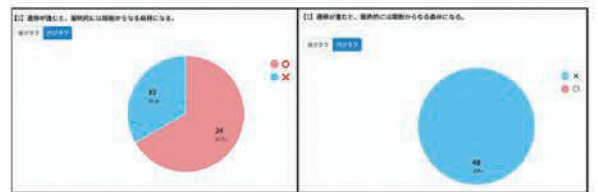
診断的評価を記入する振り返りシート

授業当日の診断的評価

生徒が勘違いしている事柄に私自身が気付くために、授業開始時に

ロイノートアンケート機能を使って、その日の授業に関する問いを

○×形式や選択形式で質問します。クラス全体の結果は、すぐに黒板に投影します。生徒は、自分の予想と違っている考えの存在に気付くと、思い思いに考えを述べ合い始めます。私の解説前に、勘違いしていたことに気付いてしまうこともあります。主体的に会話が始まり、自分たちで解決してしまうのです。また、授業終わりには、全員正解を目指して最初と同じ問いかけをします。



授業前(左)と授業後(右)の生徒アンケート結果

最後に

授業開始時のアンケート調査では、全員一致するだろうと思った質問の回答が半数ずつになったり、思いもよらない勘違いをしている生徒がいたりすることもあります。そのようなときは、急遽、頭をフル回転させてその場で授業展開を練り直すことになります。AIに授業展開を相談する暇ありません。でも、それが授業のやりがい、腕の見せ所でもあるのかな、と思っています。これからも、目の前にいる生徒の実態に合わせた授業づくりに取り組んでいきたいと思っています。



診断的評価直後の生徒の様子

地域全体で子供たちの成長を支える社会を目指して ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を～

文部科学省



県外の事例はこちら

義務



県内の事例はこちら

社教



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は、社会に開かれた教育課程を実現するための手段であり、一体的に推進することにより、学校と地域との連携・協働が、より円滑になります。一体的推進を実現するためには、学校と地域が目的を共有して語り合い、学校と地域とでPDCAサイクルを回すことがポイントです！

コミュニティ・スクールとは？

地域とともにある学校づくりを目指し、学校運営協議会を置く学校のことです。

学校運営協議会は、学校運営協議会委員が一定の権限と責任を持って、学校運営とするために必要な支援について協議する合議制の機関です。

学校と保護者や地域の皆さんが、ともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映する仕組み

学校運営協議会の3つの役割

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ② 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

Plan
計画

学校運営や地域学校協働活動に関する計画

- 何を目的・目標に行うのか？
- 効果的な手段は？
- 教育課程とどう関連付けるか？

共有した目的・目標に向けた取組

- 学習・体験活動の補助
- 「社会に開かれた教育課程」の実現
- 放課後子ども教室等

Do
実行

地域学校協働活動(本部)とは？

学校を核とした地域づくりを目指し、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動です。

地域学校協働本部は、幅広い層の地域住民・団体等が参画し、地域と学校が目標を共有しながら地域の「ゆるやかなネットワーク」を形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制のことです。

学校の応援団であり、目指すのは地域づくり、地域でのつながりづくり、地域での仲間づくり

地域学校協働本部の3つの要素

- ① コーディネート機能があること
- ② より多くの地域住民の参画による多様な地域学校協働活動の実施
- ③ 地域学校協働活動の継続的・安定的実施

Act
改善

取組の改善・次年度計画に反映

- 目的・目標の(再)設定・微修正
- 手段・方向の工夫・変更
- 新たな課題への対応等

学校運営や地域学校協働活動に対する評価

- 学校・授業評価
- 地域学校協働活動の評価

Check
評価

【義務教育課・社会教育課】



個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実に向けて

遠江総合高等学校の協力を得て研究を推進しました！

総合教育センターでは、令和3年1月答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して』を受け、令和4年度に「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、効果的なICTの活用の方法などをテーマにしたリーフレットを作成しました。

令和5年度は、研究協力校の遠江総合高等学校のご協力のもと、「探究的な学び」の充実をテーマに、実践的な研究を行いました。

リーフレット



遠江総合高等学校の目指す学校像

「総合学科ならではの多様な学びや豊かな教育資源を活用し、『自立』した、地域に貢献できる生徒の育成」

- 主な取組
- 9月：校内研修会 「探究的な学びの意義と学習環境」
 - 11月：公開授業 「授業実践シート」の活用と教員相互の授業参観

協力校における研究のポイント

遠江総合高等学校の特徴である自由選択科目を中心に「探究的な学び」について研究を進めています。その中で「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れることで、生徒の「資質・能力」を育成することをねらいます。

資質・能力の育成

授業改善

主体的・対話的で深い学び

一体的に充実

ポイント

「探究的な学び」を推進する中で一体的に充実させていく。

「個別最適な学び」

「協働的な学び」

公開授業の様子

生徒自身の興味・関心や進路選択に応じて自由に科目を選ぶ授業で「探究的な学び」を進めています。



教職員の感想

- 意見共有に力を入れたら、楽しいと生徒から好評で、今後も続けていきたい。
- 他者との交流から新たな価値観を生み出すことや、過去の自分との対比を強調することが生徒には効果的だった。

全ての教科で「探究的な学び」を意識し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで、「自立」した、地域に貢献できる生徒の育成につなげていきます。



森町の伝統工芸



食品製造

【総合教育センター】

地域人材による 学習支援の取組を紹介します

～「しずおか寺子屋」in 賀茂 夏休み学習会の事例から～

県教育委員会社会教育課では、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、地域と学校が連携・協働して行う学習支援や体験活動を推進しています。取組事例として小・中学生の学習意欲向上と、「賀茂地域で教員になりたい」高校生・大学生の人材の養成を目的とした「しずおか寺子屋」in 賀茂 夏休み学習会」を賀茂地域の市町教育委員会の協力のもと開催しましたので、紹介します。

◆賀茂地域の高校生・大学生が小・中学生に向けて学習支援を行いました！

教員を志望する下田高校の生徒と静岡大学教育学部の学生が教え手となり、小・中学生に夏休みの課題などを教材とした学習支援を2日間行いました。

参加した小・中学生からは、「優しく分かりやすく教えてくれて、勉強が早く進んだ。」といった感想が聞かれました。



◆賀茂地域の高校生・大学生と現役教員との交流会も実施しました！



2日目の学習会終了後、賀茂地域の高校生、大学生と現役教員との交流会を開催しました。

小・中学生への学習支援を経験したあとに、現役教員の経験談を踏まえた講話やパネルディスカッションを聞いたことで、生まれ育った賀茂地域で教員になる魅力に、より気づくことができました。

◆皆さんの市町や学区でも地域人材による学習支援や体験活動を実施してみませんか？

社会教育課では「しずおか寺子屋」in 賀茂 夏休み学習会」のように、地域で育った人材が、地域の子どもを育てる「教育の循環」につながる学習支援や体験活動を推進しています。

「詳しく知りたい」「やってみたい」という市町教育委員会や学校関係者の方は、お気軽にご相談ください。



【社会教育課】

組合員を対象とした
メンタルヘルス相談窓口

○教育厚生課……………TEL 054(221)3131
○静岡県教職員互助組合相談センター……………月・水・金曜日(午後1時から5時まで) ☎ 0120(034)054
○公立学校共済組合……………詳しくは右記QRコードをご確認ください ▶▶▶



林業の出前講座、実施します！

SDGsの達成や2050年カーボンニュートラルの実現に貢献する「森林・林業」のことを学んでみませんか？

今年度は、9つの学校で出前講座を実施しました。講座では、地域の林業のプロを講師に招き、森林の働きや林業の役割等の授業のほか、林業の仕事体験や現場見学などを行いました。子どもたちからは、「森林は環境保全に役立っている、林業は生活に欠かせないと実感した」などの声が寄せられました。

来年度も実施しますので、ぜひ、林業振興課(054-221-3618)にお問合せください。



チェーンソーで輪切り体験をする生徒

【林業振興課】

令和5年度 学校団体利用の実績報告と御礼

静岡県富士山世界遺産センター

今年度も、自然体験学習・修学旅行・総合的な学習の時間などで、多くの学校にご利用いただきました。

来館校数

128校

出前講座(学校対象)

35件

※いずれも令和5年度4月～12月末日までの実績

学校団体用の観覧資料(クイズシートやワークシート)もご用意しております。出前講座の講師料や交通費等の費用は無料です。お気軽にご相談ください(企画総務課 0544-21-3776)。

来館利用・出前講座の詳細は、静岡県富士山世界遺産センター公式ホームページ(<https://mtfuj-shwc.jp>)をご覧ください。



ホームページは
こちら



【富士山世界遺産センター】

県議会高校出前講座

～高校生と県議会議員の意見交換会～

若者の政治への関心をより高めるとともに、県議会を身近に感じてもらうため、県議会では「高校出前講座」を実施しています。令和5年度は、県立・私立全13校で実施しました。生徒7人程度のグループに議員1人ずつが加わり、事前に設定したテーマ「ICT化は本当に私たちを幸せにするのか?」「若者の県外流出 課題と解決策」など、高校生に関心が高い身近な話題について自由に意見交換し、実施校からは大変有意義な機会だったとの感想が寄せられました。

生徒の感想

- 議員と話す機会が今までになく、とても緊張したが、自分にはない考え方を知ることができて良かった。
- 自分たちのレベルにあわせて話してくれ、今後の静岡に関する大切な話も聞けたので、将来の自分について考える良い機会になった。

担当教員の感想

- 議員の方々が誠実に熱意を持って対応してくださり、生徒たちの社会の見方やこれからの在り方について考えを深められたと感じている。
- 議員の仕事や役割がわかり、また、身近な存在として感じられ、県行政に興味を持つきっかけとなった。

高校出前講座の概要や当日の様子等を動画で案内しています。



令和6年度も9月から1月頃の間での実施を予定しています。授業やLHRなどで活用していただくよう、ぜひご確認ください。

【議会事務局政策調査課】
TEL 054-221-3483

観音山子どもフェスティバル

～春の観音山で家族の思い出を作りませんか～

観音山少年自然の家で、楽しい春の一日を過ごしませんか。家族で山登り、沢遊びなどの自然体験活動や自然物を使ったゲームを楽しんでいただきます。毎年多くのご家族に参加していただき、好評をいただいているイベントです。皆様のご参加お待ちしております。

実施日 1 4月27日(土) 2 4月28日(日)

会場 観音山少年自然の家

定員 各回20家族程度

申し込み 観音山少年自然の家HPよりお申し込みください。

(申込期間: 3月16日～4月1日)



【観音山少年自然の家】

利用無料 シグマ老人ホーム等紹介センター

シグまっち



介護施設をお探しでお困りの方、お気軽にご相談ください!

広告

「シグまっち」の3つのメリット

①相談業務のプロを配置

相談員全員が有資格者(社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー等)です。在宅支援・施設勤務・施設紹介の経験があります。



- 相談業務のプロがお話を伺います
- 私たち相談員はすべての施設の特徴を把握しています

②行政委託実績

シグまっちを運営する地域福祉支援事業部は、静岡県及び市町より信頼を得て、多くの委託事業を受託。介護事業者や地域でお困りな方々を支えています。



③3つの安心認定事業者

高齢者住まい事業者団体連合会
紹介事業公表制度届出

高住連

高齢者住まい事業者団体連合会

プライバシーマーク指定取得 優良派遣事業者認定



- ご自宅、病院への出張相談を行います
- 入居後のサポートもいたします

お問合せ先



東海道シグマ 地域福祉支援事業部

静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

些細なことでも構いません。まずはお気軽にお電話ください。無料で相談を承ります。

TEL 054-252-3144

受付時間 / 平日9:00～17:30

東海道シグマ介護

<https://sigma-jp.co.jp/landing/medicalcare/care/sigmamatch/>



- Eジャーナルしずおかは、現在、44,000部発行し、市町教委等のご協力により静岡県の全ての公立学校等教職員一人一人に配布されています。令和6年度からは、同等の情報発信を行う新たなホームページを開設し、段階的に電子媒体(新ホームページ)での発信に移行します。
- 電子化に伴い、4月以降は発行部数を15,000部に変更し、公立学校1校あたり10部程度の配布とする予定です。
- 新たなホームページの詳細については、おってご案内します。

* 次回(第270号)の発行は、令和6年4月5日(金曜日)の予定です。